

分科会 17

どこに向かう!? 精神科デイケア!

～デイケアに求められる就労支援の役割を「職業準備性」の視点から考える～

中谷真樹&小川瑛子（住吉病院）
 上野勝征（就労支援施設リベルタ）
 高橋麻貴（就労移行支援事業所リドアーズ）
 原敬造（原クリニック）
 山田匡彦（千葉労働局職業対策課）
 肥田裕久&木村尚美（ひだクリニック）
 大山早紀子（立教大学コミュニティ福祉学部）

【分科会の目的】

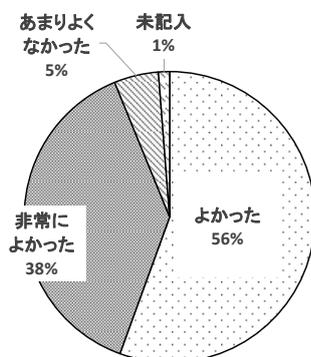
今年の分科会では、デイケアを軸に「職業準備性」というキーワードのもと、みなさんの「はたらく」を実現するためにデイケアには、求められる役割について、参加者の方とともに考えることを目的に行いました。

【内容】

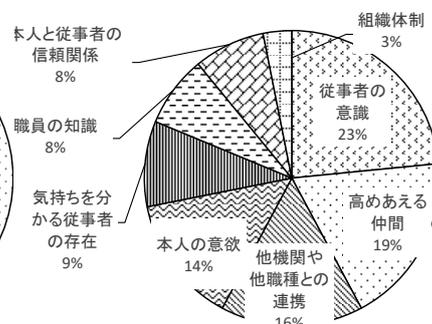
1. 情報提供：2016年4月の診療報酬の改定が、デイケアやメンバーに与えた影響について
 →肥田裕久(医療法人社団宙麦会ひだクリニック)
2. シンポジウム-職業準備性を考える-
 - ・当事者の立場から→高橋麻貴（株式会社ゼネラル・トナース リドアーズ お茶の水）
 - ・病院の立場から→中谷真樹・小川瑛子（公益財団法人住吉偕成会 住吉病院）
 - ・地域事業所の立場から→上野勝征（医療法人唯愛会 就労支援施設リベルタ）
 - ・行政機関の立場から→山田匡彦（千葉労働局 職業対策課）
3. 2のシンポジウムを踏まえての指定討論→原敬造（医療法人社団 原クリニック）
4. 会場の参加者との意見交換<会場の参加者の方との質疑応答>

当日は、約120名の方の参加がありました。本分科会独自に行った分科会参加後のアンケートでは、ひきこもりがちな人への支援、高齢者への支援や地方で社会資源が少ないところでの役割について、取り上げて欲しいという意見もありました。最後に一部ではありますが、アンケートの結果を掲載します。

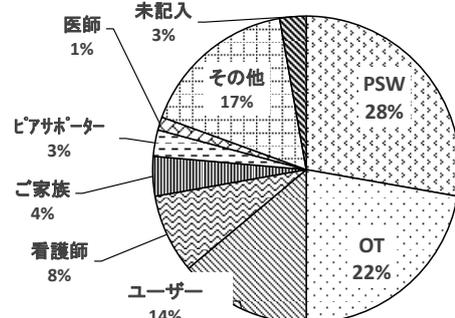
【分科会の満足度】



【デイケアでの就労支援に必要なこと】



【参加者の職種】



【分科会やこれからのデイケアに期待すること-自由記述-】

就労、就労とせつつかないでほしい、居場所の役割も大切/全国のデイケアで差があり過ぎる。ボトムアップしていくにはどうしたらいいか/就労とまでいかなくても何とか再入院せず暮している人たちが、自立ギリギリで利用するデイケアにもスポットを当ててほしい/働きたい意欲を尊重した支援。まだ待たされた方がよければその理由を明示してほしい/（分科会の）時間配分がなっていない